



# 優秀賞 (総合部門)

タイトル

ひろがる、あつまる、ふりそぐ

タイプ

持家一戸建

講評

審査員の注目が集まったのは「発泡スチロール」の扉と壁。どのような光が来るのか、白で統一された空間がどのように住みこなされているのか視察したいという意見も出た。北側廊下との間仕切りを含め、仕切り方の工夫が特徴的。

リフォーム前後の写真



B1 屋間でも照明を必要とする北側1階のスペース。

B2

B3 日常の大半をここで過ごす。

B4



◀ 梱包用発泡スチロール(階段脇の透明間仕切壁、引戸に充填。) やわらかい光がスペースを包み込む。



A4

A5

A6

A7 リビングから見る。



A1 北側の壁を取り壊し、透明な全面引戸にすることで明るいスペースとなった。



A2 北側の廊下も一体的に使うことができる。



A3 可動式シェルフがキッチンの広さを調節する。



A8 ワーキングスペースと一体化した長いテーブル。



A9 ワーキングスペースからダイニングを見る。



A10 階段引戸パネルの調節でスペースを間仕切る。

## リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

クライアントの希望は、子供たちが独立したため、夫婦二人の生活を、趣味などを楽しみながら時を共有したいということ。

また、ダイニングを中心とした利用用途は、友人とのケーキ作りやキッチンパーティ、婦人会のミーティングなど用途は多岐に渡るものであった。

リフォーム対象となる1階北側に位置するワーキングスペース、ダイニング、キッチンが暗く閉ざされた部屋の印象であった。

●北側(かつての外壁)とリビング側、及び階段脇の壁を大幅に取り壊し、細切れだった空間を一体化した。

特に配慮した住宅性能 4箇所ある床の段差を、既存の床暖シート(ビニールパイプ)を傷めないように配慮しながら全体に合板を重ね貼り、床の補強を兼ね備えた強面でフラットなフロアが実現した。

## データ

所在地	千葉県流山市	構造/築後年数	鉄骨系プレハブ 造 / 38 年
該当工事面積	19 m <sup>2</sup> /総工事床面積 19 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	286 万円/総工事費 286 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 1 人/65歳以上: 1 人/15歳未満: 人/ベット:		
設計者	白石越郎空間研究所 一級建築士事務所	担当者	白石 越郎
施工者	共栄産業(株)	担当者	飯野 浩充

●「梱包用発泡スチロール」を階段の扉と透明間仕切壁に充填することで、発泡スチロールの断熱効果と、2階からの光の透過、拡散効果により柔らかい光に包まれる空間となった。

●クライアントは、「仕掛けのある棚や引戸が時々来る来客や講習会などの集まりの時に重宝している。また、いっしょに発泡スチロールを詰めた作業が楽しい思い出として心に残った。」とコメントしてくれました。

## リフォーム前

## リフォーム後

